

## 会 議 録 第 6 号

1. 招集日時 平成25年9月27日(金) 午前10時

1. 招集場所 牛久市役所議場

1. 出席議員 22名

1番	藤田尚美君
2番	秋山泉君
3番	尾野政子君
4番	村松昇平君
5番	市川圭一君
6番	小松崎伸君
7番	山越守君
8番	沼田和利君
9番	諸橋太一郎君
10番	宮崎智君
11番	杉森弘之君
12番	須藤京子君
13番	黒木のぶ子君
14番	板倉香君
15番	柳井哲也君
16番	中根利兵衛君
17番	田中道治君
18番	石原幸雄君
19番	板倉宏君
20番	遠藤憲子君
21番	鈴木かずみ君
22番	利根川英雄君

1. 欠席議員 なし

## 1. 出席説明員

市 長	池 邊 勝 幸 君
副 市 長	野 口 憲 君
教 育 長	染 谷 郁 夫 君
監 査 委 員	植 田 典 夫 君
市長公室長	川 上 秀 知 君
総 務 部 長	滝 本 昌 司 君
市 民 部 長	坂 野 一 夫 君
保健福祉部長	清 水 治 郎 君
環境経済部長	坂 本 光 男 君
建 設 部 長	益 子 政 一 君
教 育 部 長	吉 田 次 男 君
会 計 管 理 者	高 島 町 子 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	結 速 武 史 君
市長公室次長兼 政策秘書課長	吉 川 修 貴 君
市長公室次長兼 人材育成課長	藤 田 聡 君
総務部次長兼 監 理 課 長	中 山 弘 晶 君
保健福祉部次長兼 社会福祉課長	高 谷 寿 君
保健福祉部次長兼 医療年金課長	藤 田 幸 男 君
環境経済部次長	八 島 敏 君
建 設 部 次 長	加 藤 晴 大 君
建設部次長兼 施設整備課長	山 岡 康 秀 君
教育委員会次長兼 教育総務課長	中 澤 勇 仁 君

## 1. 議会事務局出席者

議会事務局長	滝 本 仁 君
書 記	中 根 敏 美 君

書 記 飯 田 晴 男 君

## 平成25年第3回牛久市議会定例会

### 議事日程第6号

平成25年9月27日（金）午前10時開議

- 日程第 1. 議案第62号 つくば市の公の施設を牛久市住民の利用に供することについて
- 日程第 2. 議案第63号 牛久市国民体育大会運営基金条例について
- 日程第 3. 議案第64号 牛久市子ども・子育て会議条例について
- 日程第 4. 議案第65号 牛久市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 5. 議案第66号 牛久市税条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6. 議案第67号 牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例について
- 日程第 7. 議案第68号 牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 8. 議案第69号 牛久市介護保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第 9. 議案第70号 牛久市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第10. 議案第71号 牛久市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第11. 議案第72号 牛久市下水道条例の一部を改正する条例について
- 日程第12. 議案第73号 平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）
- 日程第13. 議案第74号 平成25年度牛久市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第14. 議案第75号 平成25年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第15. 議案第76号 工事請負契約の締結について
- 日程第16. 認定第 1号 平成24年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について
- 日程第17. 意見書案第2号 福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出について
- 日程第18. 意見書案第3号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について
- 日程第19. 決議案第5号 「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議について
- 日程第20. 決議案第6号 公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議について

日程第 2 1. 閉会中の事務調査の件

午前１０時００分開議

○議長（山越 守君） おはようございます。

開会前にお知らせします。執行部より土地開発基金で取得する土地について、報告書の提出及び平成２４年度決算認定附属資料について、一部差しかえの申し出がありましたので、これを許可し、各机上に配付しておきました。

これより本日の会議を開きます。

この際、諸般の報告をいたします。

議案第７３号に対する修正案の１件が提出されました。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第１、議案第６２号ないし日程第１５、議案第７６号の１５件、日程第１６、認定第１号の１件、日程第１７、意見書案第２号及び日程第１８、意見書案第３号の２件、日程第１９、決議案第５号及び日程第２０、決議案第６号の２件を一括議題といたします。

—————○—————

議案第６２号 つくば市の公の施設を牛久市住民の利用に供することについて

議案第６３号 牛久市国民体育大会運営基金条例について

議案第６４号 牛久市子ども・子育て会議条例について

議案第６５号 牛久市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第６６号 牛久市税条例の一部を改正する条例について

議案第６７号 牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例について

議案第６８号 牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

議案第６９号 牛久市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第７０号 牛久市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例の一部を改正する条例について

議案第７１号 牛久市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について

議案第７２号 牛久市下水道条例の一部を改正する条例について

議案第７３号 平成２５年度牛久市一般会計補正予算（第３号）

議案第７４号 平成２５年度牛久市公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）

議案第７５号 平成２５年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）

議案第７６号 工事請負契約の締結について

認定第 １号 平成２４年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について

意見書案第 2 号 福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出について

意見書案第 3 号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

決議案第 5 号 「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議について

決議案第 6 号 公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議について

○議長（山越 守君） 本件に関しては、各委員長から審査結果の報告を受けました。つきましては、各委員長から審査経過並びに結果についての報告を求めます。  
まず、小松崎総務常任委員長。

平成 2 5 年 9 月 2 7 日

牛久市議会議長 殿

総務常任委員会  
委員長 小松崎 伸

総務常任委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果下記のとおり決定いたしましたので、牛久市議会会議規則第 1 0 3 条の規定により報告します。

記

事件の番号	件名	議決の結果
議案第 66 号	牛久市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 73 号	平成 2 5 年度牛久市一般会計補正予算（第 3 号）別記記載の当該委員会の所管事項についてのみ	原案可決
意見書案第 2 号	福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出について	原案可決
決議案第 5 号	「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議について	否決

決議案第 6 号	公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議について	否	決
----------	---------------------------------	---	---

〔総務常任委員長小松崎 伸君登壇〕

○総務常任委員長（小松崎 伸君） おはようございます。

それでは、総務常任委員会委員長審査報告をいたします。

平成 25 年 9 月 13 日、本委員会に付託されました案件審査の経過と結果につきまして、御報告を申し上げます。

本委員会に付託されました案件審査のため、去る 9 月 20 日委員会を開催し、市執行部の出席を求め慎重な審査を行った次第です。

まず、本委員会に付託されました案件の内容を申し上げます。

議案第 66 号、牛久市税条例の一部を改正する条例については、個人市民税における寄附金税額控除の算定方法の改定、住宅ローン控除の適用期限の延長に伴う改正、市税等における延滞金の利率の引き下げによる改正及び地方税法などの改正に伴う関係条項の改正であります。

審査に当たり委員からは、延滞金の利率の見直しによる市への影響についての質疑がなされ、市執行部からは、延滞金の利率が 14.6% から 9.3% に下がり、負担の軽減につながるなどの答弁がありました。

議案第 73 号は、平成 25 年度牛久市一般会計補正予算（第 3 号）、歳入の主なものとしては、繰入金は財政調整基金繰入金の増額計上、繰越金は前年度繰越金の増額計上であります。

歳出の主なものとして、総務費の総務管理費は、2 色刷り印刷機購入費の計上及び財政調整基金への積立金の計上であります。消防費は、私有地にある小型防火水槽の撤去費の計上及び本町行政区、下柏田行政区への井戸設置費の計上であります。

審査に当たり委員からは、財政調整基金に限度額はあるのか質疑がなされ、市執行部からは、財政調整基金の積立額の限度はないが、行政サービスを展開するバランスを考えると、基金残高は 25 億円くらいがめどであるとの答弁がありました。

防災対策費では、全行政区の中で井戸の設置状況について、井戸設置の補助についての質疑がなされました。市執行部からは、現在の井戸の設置状況は、設置済みが 51 カ所、本年度設置予定が 5 カ所であり、全額補助となっているとの答弁がありました。

意見書案第 2 号、福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出については、政府が放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先課題として位置づけ、国内外の知恵と力を総結集して緊急に取り組むことを求めるものであります。

委員からは、適切な内容であり、福島第一原発の深刻な状況から議会として意見書を提出す



べきとの意見がありました。

意見書案第5号、「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議については、第1に、苦情処理委員会のメンバーに職員以外の者、特に医師あるいは臨床心理士など、ハラスメントの相談業務に精通している人を入れていないこと。第2に、市長、副市長、教育長がハラスメントを行ったとされる場合が想定されていないこと。これら2点の改善を必要不可欠のことと考え、要綱改正を要求するものであります。

委員からは、市長、副市長、教育長を含めるというのは重要なことであるとの意見がありました。

また、今後、要綱の改正もあると聞いており、統括する市長、副市長、教育長は加えなくてもよいのではとの意見もありました。

決議案第6号、公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議については、土地開発基金による公共用地の購入の際並びに土地取得議案の提出の際には、地権者の氏名等を市議会に事前に公表すること。また、公表された公共用地の購入に係わる地権者の氏名等については、市議会及び市議会議員は取り扱いに厳に注意することを求めるものであります。

委員からは、県南地区10市のほとんどが公表しており、今回の決議は時宜を得たものである。議員は公表された個人情報漏らさない内容も盛り込まれており、氏名等の公表をすべきであるとの意見がありました。

また、決議書の内容にある牛久市個人情報保護条例ではなく、牛久市情報公開条例が適用するのではとの意見もありました。

以上、5件であります。

付託されました案件について審査の結果、議案第66号及び意見書案第3号は全会一致により、議案第73号は賛成多数により、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

また、決議案第5号及び決議案第6号につきましては、賛成少数により否決すべきものと決定をいたしました。

以上、御報告をいたします。

○議長（山越 守君） 小松崎総務常任委員長。

○総務常任委員長（小松崎 伸君） 失礼いたしました。

ただいま、朗読いたしましたもののうちで、「決議案第5号」のところ、「意見書案第5号」と申し上げましたが、「決議案第5号」でございますので、修正をお願いいたします。

○議長（山越 守君） 次に、市川教育民生常任委員長。

---

平成 25 年 9 月 27 日

牛久市議会議長 殿

教育民生常任委員会

委員長 市 川 圭 一

教育民生常任委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果下記のとおり決定いたしましたので、牛久市議会会議規則第 103 条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	議決の結果
議案第 63 号	牛久市国民体育大会運営基金条例について	原 案 可 決
議案第 64 号	牛久市子ども・子育て会議条例について	原 案 可 決
議案第 65 号	牛久市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 67 号	牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 68 号	牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 69 号	牛久市介護保険条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 73 号	平成 25 年度牛久市一般会計補正予算（第 3 号） 別記記載の当該委員会の所管事項についてのみ	原 案 可 決
議案第 75 号	平成 25 年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
意 見 書 案 第 3 号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	原 案 可 決

〔教育民生常任委員長市川圭一君登壇〕

○教育民生常任委員長（市川圭一君） 教育民生常任委員会委員長審査報告を行います。

平成 25 年 9 月 13 日、本委員会に付託されました案件審査の経過と結果につきまして、御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件審査のため、去る 9 月 24 日委員会を開催し、市執行部の出

席を求め慎重な審査を行った次第です。

まず、本委員会に付託されました案件の内容を申し上げます。

議案第63号は、牛久市国民体育大会運営基金条例についてであります。

本件は、平成31年の茨城国体の開催に当たり、牛久市が空手道及び軟式野球の会場として第1次選定を受け、当該国体の開催及び平成30年に開催されるリハーサル大会に多額の事業運営費の支出が想定されることから、基金を設置し、大会開催時の事業費を積み立てるものがあります。

審査に当たり委員からは、茨城国体の開催に向けた具体的なスケジュール、開催規模、基金積み立ての総額について質疑がなされました。市執行部からは、開催規模については、軟式野球が1日もしくは2日の開催、空手道は3日間の開催となる。参加者及び来場者は総勢1万2,000人を予定している。スケジュールとして、10月に中央競技団体から正規視察があり、施設面の改修部分がわかってくる。基金の総額は1億円を予定しているが、整備内容によって流動的であるとの答弁がありました。

議案第64号は、牛久市子ども・子育て会議条例についてであります。

本件は、子ども・子育て支援法の規定に基づき、同法に掲げる事務を処理するとともに、市が実施する児童福祉法その他の子どもに関する法律等による子育ての施策について、調査審議をする機関として制定するものであります。

審査に当たり委員からは、認定こども園に対する考え方、公的責任についての質疑がなされ、市執行部からは、認定こども園は推進していくが、今までどおり保育園、幼稚園の事業を行う場合はそのまま移行できる。公的責任ということでは、民間の保育園に移行した場合でも、子ども・子育て会議の中でさまざまなニーズを拾い、そこから保育園、幼稚園、認定こども園とつなげていくとの答弁がありました。

議案第65号は、牛久市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてであります。

本件は、牛久市子ども・子育て会議を設置することに伴い、当該会議の委員の報酬額等について定めるため、改正するものであります。

審査に当たり委員からは、牛久市子ども・子育ての支援計画事業は平成27年度施行であり、この条例の施行日との違いについての質疑がなされました。市執行部からは、牛久市子ども・子育ての支援計画の事業は平成27年4月施行であるが、事業の必要量、サービス量等を決定するため、ニーズ調査を事前に実施し、牛久市子ども・子育て会議条例を早目に施行する必要があるとの答弁がありました。

議案第67号は、牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例につい

てであります。

本件は、地域交流の活性化と教育並びに文化の向上を図り、人の流れとにぎわいを形成する地域交流センターの建設事業費を確保するため、改正するものであります。

審査に当たり委員からは、地域交流センターの構想について、建設場所の確認についての質疑がありました。市執行部からは、地域交流センターは国の補助対象として、多目的ホール、会議室、展示場、ギャラリー、スタジオ等が認められており、今後検討していきたい。場所については、ヤオコーの跡地が規模的に適正ではないかと候補地の一つとして挙がっているが、確定はしていないとの答弁がありました。

また、委員からは、地域交流センター建設予定地からヤオコー跡地を除外し、既存の公共施設周辺に建設することを求める附帯決議が提出されました。

議案第68号、牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例、議案第69号、牛久市介護保険条例の一部を改正する条例については、国税及び地方税の延滞金の割合の見直しに伴い、後期高齢者医療保険料及び介護保険料に係る延滞金の割合を引き下げるため、改正するものであります。

議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）のうち、当委員会所管の歳入の主なものとして、繰入金は介護保険事業特別会計繰入金の計上、諸収入の受託事業収入は、（仮称）牛久小学校保育園設計委託費受託収入等の計上であります。

歳出の主なものとして、民生費の児童福祉費は、子ども・子育ての支援事業計画策定に向けた子育て世帯ニーズ調査及び計画策定業務委託費の計上並びに（仮称）牛久小学校保育園の設計委託費の計上であります。

教育費の小学校費は、牛久第二小学校グラウンド芝生化工事費の増額計上、神谷小学校駐車場整備費、中根小学校及び岡田小学校の駐車場用地購入費の計上であります。中学校費は、牛久第三中学校体育館の耐震補強実施設計委託費の計上、社会教育費は、牛久市社会教育施設・文化施設整備基金積立金の計上、保健体育費は、国民体育大会運営基金積立金の計上であります。

審査に当たり委員からは、中根小学校の児童クラブの増設、今後の見通し、地域交流センター建設の積み立てについての質疑がなされました。市執行部からは、中根小学校の児童クラブの増設は1クラス分、40名程度の利用を予定しており、今後は、中根小学校の増築に合わせて児童クラブの場所も確保していきたい。地域交流センター建設の積み立てについては、今後決算の状況を見て積み立てていきたいとの答弁がありました。

また、上町保育園跡地の利用についての質疑がなされ、市執行部からは、上町保育園跡地の利用については現在未定であり、今後調整をしていくとの答弁がありました。

議案第75号、平成25年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）、歳入の主なものとして、国庫支出金は前年度分の介護給付費負担金の精算に伴う追加交付の計上、繰入金は一般会計繰入金の増額計上等であります。

歳出の主なものとして、基金積立金は介護給付費準備基金積立金の計上、諸支出金の償還金及び還付加算金は前年度事業費の精算に伴う超過交付分の各種返還金の計上であります。

意見書案第3号、教育予算の拡充を求める意見書の提出については、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させるため、少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持、東日本大震災等における教育復興のための予算措置を継続して行うことを求めるものであります。

委員からは、先進国の中でも教育予算が低く、教育の充実、人材を育成するためにも、意見書を提出すべきであるとの意見がありました。

以上、9件でありました。

付託されました案件について審査の結果、議案第63号ないし議案第65号、議案第67号ないし議案第69号及び議案第75号並びに意見書案第3号は全会一致により、議案第73号につきましては賛成多数により、いずれも可決すべきものと決定いたしました。

また、議案第67号に関する附帯決議につきましては、賛成多数により可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。

○議長（山越 守君） 次に、尾野産業建設常任委員長。

平成25年9月27日

牛久市議会議長 殿

産業建設常任委員会

委員長 尾 野 政 子

#### 産業建設常任委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果下記のとおり決定いたしましたので、牛久市議会会議規則第103条の規定により報告します。

記

事件の番号	件名	議決の結果
議案第 62 号	つくば市の公の施設を牛久市住民の利用に供することについて	原 案 可 決
議案第 70 号	牛久市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 71 号	牛久市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 72 号	牛久市下水道条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第 73 号	平成 2 5 年度牛久市一般会計補正予算（第 3 号） 別記記載の当該委員会の所管事項についてのみ	原 案 可 決
議案第 74 号	平成 2 5 年度牛久市公共下水道事業特会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
議案第 76 号	工事請負契約の締結について	原 案 可 決

〔産業建設常任委員長尾野政子君登壇〕

○産業建設常任委員長（尾野政子君） 産業建設常任委員会委員長審査報告を行います。

平成 2 5 年 9 月 1 3 日、本委員会に付託されました案件審査の経過と結果につきまして、御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件審査のため、去る 9 月 2 5 日委員会を開催し、市執行部の出席を求め慎重な審査を行った次第です。

まず、本委員会に付託されました案件の内容を申し上げます。

議案第 6 2 号は、つくば市の公の施設を牛久市住民の利用に供することについてであり、つくば市の公共下水道を本市の住民の利用に供するため、地方自治法第 2 4 4 条の 3 第 3 項の規定により、議会の議決を求めるものであります。

審査に当たり委員からは、上水道の使用量に応じて下水道使用料を算定し、上下水道使用料を一括徴収しているが、上水道は牛久市内で使用し、下水道はつくば市の施設を使用する場合は、どのように下水道使用料を算定するのかとの質疑がなされました。市執行部からは、対象となっている世帯は井戸水を使用しており、下水道使用料は下水道施設を実際に使用して管理していくつくば市の算定方法により算定し、賦課、徴収するとの答弁がありました。

また、協定書には、取りつけ管及び公共汚水ますについて、牛久市が管理することになっているが、なぜ取りつけ管の工事費は個人負担になるのかとの質疑に対し、市執行部からは、将来、牛久市側の下水道施設の計画が承認されるまでの暫定期間としての利用は、取りつけ管工事費を個人負担とし、牛久市側の下水道施設が整備されたときは、取りつけ管をつけかえる工事について牛久市が負担するとの答弁がありました。

議案第 7 0 号、牛久市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例の一部を改正する条例及

び議案第71号、牛久市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例の2件は、いずれも租税特別措置法の改正に伴い、代執行費用に係る延滞金の割合を変更するため、改正するものであります。

審査に当たり委員からは、牛久市において、実際に代執行をした事例があるのかとの疑問がなされました。市執行部からは、過去に代執行の事例はなく、代執行に至る前の段階で解決に導いていきたいとの答弁がありました。

議案第72号は、牛久市下水道条例の一部を改正する条例についてであり、国税及び地方税の延滞金の割合の見直しに伴い、牛久市下水道条例に定める使用料の延滞金の割合を変更するため、改正するものであります。

議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）のうち、当委員会所管の歳入の主なものとして、国庫支出金は、放射線量低減対策緊急事業費補助金、消費者行政活性化基金事業補助金、緊急雇用創出事業補助金及び社会資本整備総合交付金の増額計上であり、県支出金は、契約取引推進体制強化事業補助金の計上であります。

歳出の主なものとして、衛生費の保健衛生費は、放射線量計測業務委託費等、緊急雇用創出事業補助金による市内のまきを集める木質バイオマス推進事業費及び地域バイオマス産業化推進事業補助金によるBDF製造施設整備費の計上、清掃費は、資源物処理委託料の増額計上であります。商工費は、消費者行政活性化基金事業補助金による消費者教育パンフレット印刷費等の計上であります。土木費の道路橋梁費は、通学路危険個所の雑草除去委託費等の計上、市道8号線の道路改良舗装工事費及び補償金の増額計上、市道1162号線、市道1305号線の測量設計費等の増額計上であり、都市計画費は、牛久駅東口再整備工事費等の増額計上であります。

審査に当たり委員からは、市民とともに中央地区のまちづくりを实践する事業の目的は何かとの疑問がなされました。市執行部からは、牛久駅を中心として、けやき通り、シャトーカミヤ、市役所、中央図書館、中央生涯学習センター、柏田川と柏田川の谷津などを含むエリアを総称して中央地区と呼んでおり、駅前広場の整備が終わったら人々のにぎわいをつくれるとは考えていない。今回の工事はあくまでもスタートにすぎず、ある程度広いエリアの整備構想をつくって、時間をかけて整備する中でまちを形成していくことがこの事業の目的であると考えているとの答弁がありました。

また、駅前広場の整備にイタリア製のれんがを使用するに当たり、日本製のものと同程度の価格ということだが、価格差はどのくらいかとの疑問に対し、市執行部からは、れんが自体の価格は、イタリア製れんがの1平方メートル当たりの単価は1万3,500円であり、日本製れんがは約1万8,000円であるとの答弁がありました。

議案第74号、平成25年度牛久市公共下水道事業特会計補正予算（第3号）の歳入といたしまして、国庫支出金は社会資本整備総合交付金の増額計上であり、繰入金は一般会計繰入金の増額計上であります。

歳出といたしまして、下水道事業費の下水道建設費は国庫補助金の内示に伴う田宮地区の汚水管渠布設工事費、田宮地区の雨水管渠布設工事費、上町排水区調整池の用地購入費及び実施設計委託費並びに下町排水区調整池の用地購入費の計上であります。

審査に当たり委員からは、田宮地区の雨水管渠を布設する事業の補助金の内容について質疑がなされました。市執行部からは、雨水管を布設する場所に埋設されている水道管の移設費用及び電柱や電線の移設費用であるとの答弁がありました。

議案第76号は、工事請負契約の締結についてであり、下町第二雨水幹線管渠布設工事について、工事請負契約を締結するものであります。

審査に当たり委員からは、豪雨による被害に対するこれまでの雨水対策工事の効果について質疑がなされ、市執行部からは、以前は床下浸水していた地区について、宅地内の駐車場が多少冠水する程度に改善され、下町第二雨水幹線の整備の相当な効果があらわれていると考えているとの答弁がありました。

以上、7件であります。

付託されました案件について審査の結果、議案第62号、議案第70号ないし議案第72号及び議案第76号の5件は全会一致により、議案第74号につきましては賛成多数により、内容適切なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、議案第73号につきましては、可否同数により委員長裁決の結果、可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。

済みません。1カ所、指摘がございましたので訂正をいたします。

2ページ目のところであります。下のほうに、「審査に当たり委員からは」というところ、1文字下がっておりますけれども、ここの「田宮地区の雨水管渠を敷設する事業の補償金」ですけれども、これを「補助金」と発言していたようですので、訂正をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（山越 守君） 次に、柳井決算特別委員長。

---

平成25年9月27日

牛久市議会議長 殿



決算特別委員会

委員長 柳 井 哲 也

決算特別委員会審査報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果下記のとおり決定いたしましたので、牛久市議会会議規則第１０３条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	議決の結果
認定第１号	平成２４年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について	認 定

〔決算特別委員長柳井哲也君登壇〕

○決算特別委員長（柳井哲也君） 決算特別委員会委員長審査報告をいたします。

平成２５年９月１３日、本委員会に付託されました案件審査の経過と結果につきまして、御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、認定第１号、平成２４年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について。

以上、１件であります。

本委員会に付託されました案件審査のため、去る９月６日、１７日、１８日、１９日の４日間にわたり委員会を開催し、１７日午前中に牛久第二小学校、ひたち野うしく小学校の現地視察を行うとともに、１７日、１８日、１９日の３日間は市執行部の出席を求め慎重な審査を行った次第です。

初めに、委員からは、歳入総額に占める市税の減少について、１６歳未満の扶養控除の廃止に伴う市税の増収分はどれくらいか、市民税は減少傾向にあるが、人口の想定と市税減少に伴う施策についての質疑がなされました。市執行部からは、年少扶養控除の廃止に伴う個人市民税の増収分は、平成２４年度で約２億１，０００万円になるが、東日本大震災の関係で雑損控除を受けた方が多数おり、個人の所得の減少分と合わせると１億４５７万円の増にとどまった。平成３５年度の税収は、１０４億円まで落ち込むという想定がされており、平成２４年度の決算比で約１２億円の減収となる。人口は平成３２年度には約９万人の人口を想定しており、人口減少というものは想定していないが、個人市民税が主体の税収構造となると見込んでいる。

牛久市の税収減は現役の労働世代の減を主な要因としたものであり、現在、若年世代の定住促進を図る施策を推進しているところであるとの答弁がありました。

また、危機管理体制の強化では、平成24年度の実績、検討事項について質疑がなされ、市執行部からは、市の職員が体験したこと、宮城県に災害派遣された反省事項等の報告会の開催や、各行政区、防災会における震災対応の反省会を実施しました。市民への情報伝達の強化、飲料水の確保等の対策が必要であり、市民への情報伝達では、防災ラジオの整備、エリアメール等の業務を盛り込んでいるとの答弁がありました。

教育関連では、エスカード牛久、中央生涯学習センター文化ホールの稼働率について質疑があり、市執行部からは、エスカード牛久の新設されたホールの稼働率は、平均で47%、土日祝日については76.4%となっている。中央生涯学習センター文化ホールは、年間193日の利用があり、稼働率は64.5%となっており、近隣でも上位の稼働率となっているとの答弁がありました。

福祉関連では、コミュニティバスの利用者増の要因、運行ルートの変更についての質疑がなされ、市執行部からは、利用者は、平成23年度の約15万8,000人から平成24年度の18万9,000人と、約3万人増加している。平成24年4月より、コミュニティバスかつば号の運行を4台体制から5台体制に変更し、ルートの変更はないが、便数をふやしているとの答弁がありました。

環境部門では、ごみの収集における外国人に対する対策について、不法投棄の防止、抑止対策についての質疑がなされ、市執行部からは、ごみの分別について、外国人で日本語が理解できない方へは英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、ハングル語の5カ国のごみ分別表を作成し、窓口で配付している。不法投棄の防止策としては、職員のパトロールはもとより、各行政区に委嘱している環境美化推進委員のパトロール等で早期発見に努めており、継続的に不法投棄が行われていた場所にはカメラを設置して、常に不法投棄を監視しているとの答弁がありました。

介護保険特別会計では、介護認定を受けてもサービスを利用していない方について、特別養護老人ホームの待機者についての質疑がなされました。市執行部からは、介護認定を受けてサービスを利用していなく医療機関に入院されている方については、定期的に確認している。その他、住宅改修のみを行ってサービスを利用していない方は、住宅を改修することにより在宅での生活ができている。特別養護老人ホームの待機者で牛久市民は、今年3月末で148名であり、現在開設準備をしている特別養護老人ホームがオープンすれば、待機者は解消できるのではないかと見込んでいるとの答弁がありました。

付託されました認定第1号は、審査の結果、内容適切なものと認め、賛成多数により認定す

べきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。

○議長（山越 守君） 以上で、各委員長の審査の経過並びに結果についての報告は終わりました。

これより各委員長の報告に対する質疑に入ります。

なお、質疑は一括質疑でお願いいたします。１８番石原幸雄君。

〔１８番石原幸雄君登壇〕

○１８番（石原幸雄君） 産業建設常任委員会委員長にお尋ねをいたします。

７３号議案について、可否同数の結果、委員長判断に基づいて可ということになったと報告がございました。その判断根拠についてお尋ねをいたします。

○議長（山越 守君） 尾野産業建設常任委員長。尾野委員長に答弁を求めます。

〔産業建設常任委員長尾野政子君登壇〕

○産業建設常任委員長（尾野政子君） 石原議員の質問にお答えいたします。

今回の議案第７３号に関しては、たくさんの前進的な事業がなされるということでございます。まずは、放射能対策におきまして、１１月からこの受け付けをして、実施を市内と龍ヶ崎市の病院で助成券の発行をしていくというもの、これも一つ形となってきます。そしてまた、ＢＤＦに関しまして、バイオマス産業都市としての認定を受けまして、新たにグリーンファームのほうにこのように移動設置がなされて、これからますますＢＤＦの推進をしていくということも画期的なことだと思っております。たくさんの項目の中には、皆さんの質疑の中に出しております、たくさん今話していると、これを伝えるということもありますけれども、以上の観点から、今回のこの７３号は特に私は賛成をさせていただきたい、そういうふうに根拠を持っております。以上です。

○議長（山越 守君） ほかにございませんか。１２番須藤京子君。

〔１２番須藤京子君登壇〕

○１２番（須藤京子君） 総務常任委員会委員長にお尋ねをいたします。そして、もう１件、教育民生常任委員長にも質問をしたいと思います。

まず、総務常任委員長にお尋ねをしたいのは、決議案第５号と決議案第６号、この審議をするに当たって、執行部が在席をして審議に当たられたということで、これは参考意見として休憩中に意見を求めるというようなことだったと聞いておりますが、こういうふうにするということに関しての委員からの要望があったのか、どういう働きかけがあったのかと。それから、こういうふうにするということに関して、各常任委員会の委員を集めて協議をして判断をしたのか、委員長の判断としたのかということについて、もし委員長の判断だったならば、こういう

ことを委員長として決定をしたという、その判断の根拠についてお尋ねをいたします。

それからあと、決議案第6号で、最後のところに、「また、決議案の内容にある牛久市個人情報保護条例ではなく、牛久市情報公開条例が適用するのではとの意見がありました」とここに書かれているんですけども、委員の中でこういう発言があったのかどうかを確認したいと思います。参考意見の中では、執行部がこういう発言をされていたとは聞いておりますが、委員の中でこういう発言があったのかどうかの確認をいたします。

それから、教育民生常任委員長にお尋ねをいたします。

議案第67号議案について、附帯決議が提出されたということで、この附帯決議の内容の詳細を御答弁いただきたいと思います。そしてまた、この議案第67号議案については、賛成多数により可決すべきものと決定したとあります。委員会で附帯決議が通ったと、可決したということは、執行部に対して何らかの対応を求めると考えられますが、委員会としては、どのようにこの附帯決議を勧案して、執行部が今後の対応をするかということに責任をどう持っていくのか、委員長としてはどこまでの責任を持つのかという点についてお尋ねをいたします。以上です。

○議長（山越 守君） 小松崎総務常任委員長。

〔総務常任委員長小松崎 伸君登壇〕

○総務常任委員長（小松崎 伸君） それでは、須藤議員の質問にお答えをいたします。

まず、最初の決議案第5号の部分で、執行部の方がそのまま退席されずに残っていたという、私が暫時休憩中に残っていて、その段階で詳しい説明をしていただくということで発言がありましたので、それを許可したということでございます。

次に、決議案第6号の件でございますけれども、委員の中で、この内容について特に個人情報保護条例、そして情報公開条例、これについて等の意見があったということでございますけれども、この内容につきましては、1件、ある委員の方から個人情報保護条例だけではなくて、いわゆる情報公開条例が適用するのではということで意見がございましたけれども、そのほかの内容についての突っ込んだ意見等はございませんでした。

以上でございます。

○議長（山越 守君） 市川教育民生常任委員長。

〔教育民生常任委員長市川圭一君登壇〕

○教育民生常任委員長（市川圭一君） それでは、須藤議員の議案第67号に対する附帯決議（案）に関しまして、出ましたことに関しての詳細ということですので、朗読をもってさせていただきます。

議案第67号牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例についてに

関する附帯決議（案）。

牛久市は、平成25年度9月議会において、懸案である地域交流センターの建設に向けて、1、議案第67号、牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例の第1条に、地域交流センターを加えること。2、議案第73号、平成25年度一般会計補正予算において、社会教育費に地域交流センター建設のため、1億3,000万円の基金積み立てが提案されている。9月13日、この件に関する本会議場での質疑で、同施設の建設予定地の一つに、国道6号沿いのヤオコー跡地も含まれるとの答弁があった。そこで、同建設の建設地の選定に際しては、下記に留意されるよう強く求める次第である。記、1、交通混雑及び駐車場の確保の観点から、ヤオコー跡地を建設予定地から除外すること。2、同建設は既存の公共施設の周辺に建設すること。以上、決議する。

これは教育民生常任委員の鈴木委員から提出され、賛同者として黒木委員がおりました。

なお、この附帯決議に関しましては、賛成者は板倉 宏委員、黒木のぶ子委員、宮崎 智委員の3名です。ということで、附帯決議は可決されました。

私の思うところということですが、私の場合は委員長として、委員からこういう提案がなされ、その場で真摯に決議がされたということですので、その結果、このような形になったということの判断しかありません。以上です。

○議長（山越 守君） 12番須藤京子君。

〔12番須藤京子君登壇〕

○12番（須藤京子君） それでは、再質問させていただきます。

ただいまの総務常任委員長の御答弁でしたけれども、執行部が決議案のときの審議に在席したというのは、執行部からの求めによってその場で皆さんに諮ったところ、よろしいということとで在席し、休憩中にその参考意見として聞いたということによろしいのかということ。

本来、決議案というのは議員同士の自由闊達な討議の中から、牛久市議会として出された案件についてどのように判断していくのかということを話し合う場ではないのかなと私は思います。執行部が残りたいということであれば、その意見の流れを伺うということは、当然執行部として市政運営にかかわるようなことであれば、意見の流れをじかに聞きたいということで在席するということはわからなくもないんですが、そこに自分たちに影響がありそうだからというようなことで、あたかも水を差すような発言というか、そういうような発言をするということ、休憩中の討議の問題ではあるのですが、そういう委員会運営をされていていいのかという疑問を私は生ずるんですが、その点に関しての委員長の考えを伺いたいと思います。

それから、あと、教育民生常任委員長にお伺いをしたいと思います。

附帯決議の内容はわかりました。そして、今後どうするかというのは、今意見を持っていな

いということでしたが、そういう無責任なことでもいいのかどうか。今後この決議をどういうふうに執行部に伝え、それを実行させるようにしていくのかというのは、常任委員会としてのこれは決議でありますから、可決されたものでありますから、それをやっていくのが委員長としての責務であろうと思いますが、その点に関する覚悟というか、お考えを再度お尋ねをいたします。以上です。

○議長（山越 守君） 小松崎総務常任委員長。

〔総務常任委員長小松崎 伸君登壇〕

○総務常任委員長（小松崎 伸君） 須藤議員の再度の質問にお答えをいたします。

執行部がおられて、その中で、いわゆる参考意見という形で丁寧な説明をしていただいたということは、これは望ましいことと思っております、休憩時間中ではありますけれども。そして、須藤議員にも丁寧な資料もいただきましたので、そういったことを総合的に考えますと…。

○議長（山越 守君） 静粛に。

○総務常任委員長（小松崎 伸君） 皆さんの賛否の大変な参考になったという意味で、休憩時間中ではございましたけれども、総合的には皆さんのいい判断に貢献したと思っておりますので、その点は十分御了承いただきたいと思います。

○議長（山越 守君） 市川教育民生常任委員長。

〔教育民生常任委員長市川圭一君登壇〕

○教育民生常任委員長（市川圭一君） 須藤議員の再質問にお答えします。

先ほども、委員長報告にもありましたが、まずこの附帯決議に関しては、議案第67号を賛成して、また附帯決議で、いわゆる反対するというような、そこら辺を考慮していただければおのずとわかるのかなと思います。以上です。

○議長（山越 守君） ほかにございませんか。11番杉森弘之君。

〔11番杉森弘之君登壇〕

○11番（杉森弘之君） 決算特別委員会委員長審査報告について質問をいたします。

福祉関連のところで、コミュニティバスの利用者増ということについて、平成23年度の約15万8,000人から平成24年度の約18万9,000人と、3万人ふえているということが報告をされているわけですが、他方で、バスを4台体制から5台体制に変更しということも書かれていて、費用対効果の問題についてはどのような議論がなされているのか、そのことについて質問をいたします。

それから、教育民生常任委員会の委員長に質問をさせていただきたいと思いますが、先ほどの答弁の中で、附帯決議が反対というふうに、これちょっと答弁ミスかもわかりません

けれども、気になりましたので、もう一度その問題については御答弁をお願いしたいと思います。以上です。

○議長（山越 守君） 市川教育民生常任委員長。

〔教育民生常任委員長市川圭一君登壇〕

○教育民生常任委員長（市川圭一君） それでは、杉森議員の質問にお答えします。

大変失礼いたしました。先ほど、議案第67号は賛成され、議案第67号の附帯決議に関しても賛成されたということに訂正してください。

○議長（山越 守君） 柳井決算特別委員長。

〔決算特別委員長柳井哲也君登壇〕

○決算特別委員長（柳井哲也君） 杉森議員の質問にお答えいたします。

コミュニティバスの利用者が増加したということは、秋山議員の多分質問に対する答弁だったと思うんですが、その費用対効果ということなんですよね。特に克明に記憶しているあれではないので、実際は会議録を見ていただきたいと思うんですが、費用対効果出るようにと、よくしたいというようなふうには私は受けとめております。詳しくはちょっと……。よろしく願いいたします。

○議長（山越 守君） 杉森議員。

〔11番杉森弘之君登壇〕

○11番（杉森弘之君） ちょっとわかりにくかったんですが、要するにそういう議論はなかったということで理解すればいいんですか。

○議長（山越 守君） 柳井決算特別委員長。

〔決算特別委員長柳井哲也君登壇〕

○決算特別委員長（柳井哲也君） 再度の質問にお答え申し上げます。

コミュニティバスは、牛久の一番進めて……。利用の批判も多いし、助かる人も多いということで、本当に慎重に執行部が進めている答弁がありまして、今回は特に4台から5台にふやして、大幅に利用者数がふえたという、そのあれはよく覚えています。多分、費用対効果も成果を上げているんだと思うんですが、その記憶がちょっとないものですから、私一生懸命書いてあって……（「一聴取不能」の声あり）そうなんです。会議録をどうか読んでいただけたらと思います。よろしくお願いします。

○議長（山越 守君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） 以上で、各委員長に対する質疑を終結いたします。

この際、議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）については、利根

川英雄君外2名から修正の動議が提出されております。

これより、本動議を議題といたします。

提出者の説明を求めます。22番利根川英雄君。

〔22番利根川英雄君登壇〕

○22番（利根川英雄君） 議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案について、提案理由の説明をいたします。

款10教育費項5社会教育費節25積立金、1億3,000万円について削除し、財政調整基金に繰戻すものであります。したがって、歳入歳出それぞれ11億3,056万3,000円とし、歳入歳出の総額を244億3,917万2,000円とするものであります。

その理由は、1億3,000万円の積立金、まだ建設も用地も決まっておらず、これから市民の要望を取り入れながら建設を検討するのみでは、余りに高額と言わざるを得ません。私たちは、この基金設置条例が提案された、昭和63年第1回定例会に提案されたわけですが、そこでの反対討論、その当時は、5層の天守閣の資料館を建設するというものでありましたが、これに対し、その実態や調査などを行わず、費用のみ先行している。高額な費用を使って建設する必要は考えられないとして、討論を行いました。今回の地域交流センターについても、既存の施設をいかに活用するかなど、検討の余地はまだあると考えるものであります。税収が落ち込む中、高額な費用を使って箱物行政はやるべきではありません。より切実な市民要求は、福祉、そして生活環境整備の充実であり、それらを最優先にすべきであります。

以上が提案理由の説明であり、詳細につきましてはお手元の議案のとおりです。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（山越 守君） 以上で、22番利根川英雄君の提案理由の説明は終わりました。

これより、本動議についての質疑を許します。18番石原幸雄君。

〔18番石原幸雄君登壇〕

○18番（石原幸雄君） 提案者に1点、お尋ねをいたします。

提案者におかれましては、地域交流センターの建設そのものについては、賛成であるのか、反対であるのか、明確な立場を明らかにしていただきたいと思います。

○議長（山越 守君） 22番利根川英雄君。

〔22番利根川英雄君登壇〕

○22番（利根川英雄君） 私たちの会派は、67号議案、地域交流センターを加えるということについて賛成はしております。しかし、今回の費用です。1億3,000万円というものに対して、十分な検討がされていないと。建設を検討するために、なぜ1億3,000万円も必要なのかということでもあります。そしてまた、既存の施設、どのように活用できるかという



ようなものも全く議論されていない中でこのような基金に積み立てすることは早計だと思い、今回の修正案としたわけであります。63年当時の資料館建設についての基金設置条例についても、資料館については反対をするものではないという議論をいたしました。そして、また今回も、地域交流センター、名前はこれから変わってくるのかとも思うんですが、これについても反対はするものではありません。ただ単に、金額とその目的等がまだ明確になっていない中で高額なものということで、修正を出しました。以上です。

○議長（山越 守君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） 以上で本動議についての質疑を終結いたします。

これより、提出されている全議案に対する討論に入ります。

まず、原案賛成の方の発言を許します。18番石原幸雄君。（「休憩」の声あり）

自席にて暫時休憩いたします。ちょっとお待ちください。

午前11時11分休憩

---

午前11時12分開議

○議長（山越 守君） 再開いたします。

18番石原幸雄君。

〔18番石原幸雄君登壇〕

○18番（石原幸雄君） 決議案第5号及び決議案第6号に対する賛成討論。

まず、決議案第5号、「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議については、ハラスメントの防止に関する要綱が制定されたこと自体は評価されてしかるべきであると考えるが、本決議案が指摘しているように、現行の要綱の最大の問題点は、市長等の三役について、パワハラ当事者となることは想定していないとの理由で、当事者から除外していることである。しかしながら、現代はさまざまな事情により物事の先行きが不透明であることに加えて、想定外の出来事が頻繁に発生すると言っても過言ではない時代であり、その意味で、市長等の三役がパワハラ当事者となる可能性が十分に考えられる。したがって、本決議案の内容は常識的かつ適正であり、採択すべきものと判断をいたします。

次に、決議案第6号、公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議については、関連する以下の4つの理由により、内容が常識的かつ適正であると考えます。

1つ目は、国の機関である法務局において、地権者の氏名等の閲覧が可能であるにもかかわらず、あえてこれを非公表とすることには矛盾があること。

2つ目は、同僚議員の調査や、総務常任委員会において配付された資料によると、平成17

年7月15日及び同年10月11日付で公共用地の購入に関する地権者の氏名等は、法令等の規定により何人でも閲覧することができる情報に当たり、非開示情報には該当しないとの最高裁判所での判例があること。

3つ目は、私の調査によれば、公共用地の購入に際して、本市を除く県南10市のうち、1市が地権者の氏名等の公表の可否を検討しているほかは、全ての自治体が地権者の氏名等を議員に公表しているという実態があること。

4つ目は、公表された情報については、本決議案が議員に対して十分慎重な取り扱いを求めていること。

以上の理由から、本決議案は採択されてしかるべきであると判断をする。

議員各位の良識ある判断をお願い申し上げまして、賛成討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。12番須藤京子君。

〔12番須藤京子君登壇〕

○12番（須藤京子君） 議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）について、反対討論を行います。

今回の補正予算について、市長は提案理由の中で、国の平成26年度予算の概算要求では厳しい予算編成が想定されていることから、地方交付税や国庫補助金の本格的な減少前に、可能な限りの補助金の獲得を念頭に置きながら積極的に事業を推進していくという考え方を示しています。

政権交代後、政府は経済浮揚策として大型補正を組み、公共事業費を大幅に増加させました。これにより、地方公共団体は一気に補助金獲得に乗り出しました。また、公共事業の中身も、当初、安倍政権が掲げた防災や減災などから、今や新規の事業にも予算づけがなされる状況になっています。そして、牛久市はまさにその路線をひた走っていると言えます。その象徴と言えるものが、地域交流センター建設ではないかと思います。無論、今は建設のための基金の積み立てという段階ではありますが、箱物行政の復活を予感させるものであります。この地域交流センターは、武道館建設に端を発し、国庫補助金を受ける関係から多目的ホール、会議室など、地域コミュニティーの核として、西側拠点のまちづくりの推進を図る目的と方向性が示されています。

また、牛久駅東口再整備事業については、イタリアの広場をイメージし、人が集まる広場にリニューアルし、にぎわいを創出、駅前活性化を図っていくとしています。しかし、今の時代に果たしてこの事業がこうした効果を生み出せるもののでしょうか。巨額の経費を投じた責任を誰がとるのでしょうか。税収減の時代に何を優先していくのか、市民が望むのは日々の暮らしの安心・安全です。私たちは、あれもこれもこの時代から、あれかこれかを選択する時代に入

っているのです。

今回の補正予算では、放射能対策費や市道改築整備事業、また中学校の耐震化など、必要欠くべからざる予算が計上されています。しかしながら、箱物行政につながる事業が含まれていることから、原案に対しては反対するものであります。

議員各位の御賛同を心からお願いし、反対討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。11番杉森弘之君。

〔11番杉森弘之君登壇〕

○11番（杉森弘之君） 決議案第6号、公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議について、賛成討論をいたします。

周知のように、最高裁判所は、平成17年7月15日に名古屋市土地開発公社に関して、また、同年の10月11日に奈良県土地開発公社に関して、公共用地の取得における個人情報の開示問題にかかわる重要な判決を出しました。名古屋市の住民は土地取得価格の公表を求め、また、奈良県の住民は土地取得に関する文書の開示を求めるものでありました。その判決の要点は、公共用地として購入した土地の買収価格、所在、地番、地籍、同土地上の建物の所在地及び面積並びに当該個人地権者の住所及び氏名などに関する情報は、一般に不動産登記簿に登記されて公示されるもので、法令等の規定により何人でも閲覧することができる情報、あるいは公表することを目的として実施機関が作成し、または取得した情報に当たり、非開示情報には該当しないというものでありました。これらの最高裁の判例は、他方で、補償の対象となった工作物の所在地及び面積などの情報については、不動産登記簿によっても公示されないものとして、非開示情報に該当するとするなど、情報開示を積極的に進めている自治体からすると、まだまだおくれた面も多いとの指摘もある内容のものであります。

補償業務管理士の協会である社団法人日本補償コンサルタント協会の近畿支部は、これらの判決を受けて、判例は開示を拒んでも違法ではないという必要最小限の非開示基準を示したものにすぎないものと受けとめ、各自治体や行政は、条例、その他の独自基準に基づいて、可能な限り開示請求に対応し、透明性を確保するよう努めることによって、広く一般国民との信頼関係を深めていくことが、これからの用地事務を未来あらしめることにつながるものと思われる、さらなる情報開示の進展に向けて対応できるように訴えているほどであります。重要な点は、公共用地の購入問題に関する情報開示について、最高裁判例として整理し、地権者の住所及び氏名などに関する情報は非開示情報には該当しないとされたことであります。このことの意味を市議会はしっかりと把握する必要があると考えます。

また、牛久市執行部が公共用地の取得に関し、地権者が拒否した場合に非開示にすることを合理化するための根拠としている牛久市個人情報保護条例についてであります、さきの6月

定例会でも、私は土地購入議案に関して、地権者の名前が抜けているところがあるが、その名前は誰か、名前を書かない根拠は何か、牛久市個人情報保護条例のどの部分に該当するのか、牛久市個人情報保護条例第20条第3項ア号の不開示除外規定に違反していないか、などについて質問をいたしました。その際、執行部の回答は、個人情報保護条例は基本的には個人情報は保護するということが前提。要するにいろんな目的外利用とか、他の人に開示してはいけないのが原則。こういう場合は例外という規定はありますが、今回のやつは、他の情報との登記所の絡みだと思いますが、そういった場合は開示できないと解釈しています。といいますのは、今、情報開示でいろんな情報が出回っていますので、それを言い始めますと、ほとんどの市役所の情報が他でわかり得るという場合には全て出すということになってきますので、個人情報を保護することが難しくなると考えていますので、そういった外部からの情報を得て、こちらの情報を開示しなければならないという解釈はとっておりませんというものでありました。

この回答は、大きく2つの点で問題があると考えます。第1に、市執行部は個人情報保護条例は基本的には個人情報は保護するということが前提と述べていますが、同条例は個人情報は保護するということだけが前提ではありません。目的を明記した第1条で、個人の権利を保障するとともに、公正で民主的な市政の実現を図り、と明記しているのであります。公正で民主的な市政の実現をするという中には、情報公開は大きな柱となっており、まさに条例は、最高裁が図った情報公開と個人情報保護の均衡をうたっているのであります。

第2に、今回のやつは他の情報との登記所の絡みだと思いますが、そういった場合は開示できないと解釈していますと勝手な解釈をしていることであります。同条例は不開示情報に関する第20条で、開示請求者以外の個人情報に関する情報を不開示としています。ただし、次の掲げる情報を除くとして、法令等の規定により、または慣行として開示請求者が知ることができ、もしくは知ることが予定される情報が挙げられているのであります。このことは、牛久市情報公開条例第7条においても同様に規定されていることであります。これらの規定はまさに、さきの最高裁判例が一般に不動産登記簿に登録されて公示されるもので、法令等の規定により何人でも閲覧することができる情報として、地権者の住所及び氏名などに関する情報は非開示情報には該当しないと判断したことに一致しているものであります。個人情報保護条例の第18条の開示請求権で、請求できるのは、自己を本人とする保有個人情報であることを規定していますが、それを理由に第20条で開示請求者以外の個人情報に関する情報は非開示としながら、その除外規定を設けていることを否定することはできません。

以上、最高裁判例と牛久市の条例を踏まえながら、今回の公共用地に関する決議案が時代の流れに沿った極めて重要なものと考え、議員各位の御賛同をお願いして、賛成討論とするものであります。

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。20番遠藤憲子君。

〔20番遠藤憲子君登壇〕

○20番（遠藤憲子君） それでは、議案第73、74号について反対討論を行います。

議案第73号、平成25年度一般会計補正予算（第3号）では、地域交流センター建設を検討する事業が突然計上され、基金として1億3,000万円の積立金が計上されております。議案第67号で、基金条例改正では、地域交流センターとはたまり場、ホールなどさまざまな形態を持ち、社会教育、文化的な施設と考えているとの答弁では、規模、用地などが明らかにされておりません。議案第73号の質疑では、今後の決算状況で積み増しをしていき、10億円単位でかかる施設とのことでした。税収が落ち込むと言われている中で、箱物行政ではなく、既存施設の有効利用も含め検討する余地が多分にあると考えます。福祉、教育、医療の充実、生活環境整備など、切実な市民要求にこそ充てるべきです。

議案第74号は、牛久市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）です。下町排水区の公有財産購入費については、平成24年7月に土地開発基金7,382万5,000円で購入し、今定例議会で下水道特別会計に買い戻しの議案として出ております。昨年の買い戻した隣接地と同じ調整池とのことで、当初計画にはなく、面積合わせて3955.14平米ではありますが、土地開発基金を使つての先行取得、補助がついての買い戻しによるもので、合計で約1億4,458万円もの大きな金額を後から事業計画を立てることに疑問を感じます。

よって、議案第73号、74号について反対をするものです。

委員各位の御賛同を心から訴えまして、反対討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。20番遠藤憲子君。

〔20番遠藤憲子君登壇〕

○20番（遠藤憲子君） それでは、決議案第5号、「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議に対し、賛成討論を行います。

この決議案第5号は、要綱施行は一步前進と考えます。しかし、2点の内容改正を求める内容につきまして賛成の立場です。

1点目には、苦情処理委員会のメンバーに職員以外の、特に医師、または臨床心理士などのハラスメントの相談業務の専門家が入っていないこと。2点目には、市長、副市長、教育長がハラスメントを行ったとされる場合が想定されていないことです。皆様も御存じのように、パワーハラスメントについては、一般的に職権などのパワーを背景にして本来の業務の範疇を超えて継続的に人権と尊厳を侵害する言動を行い、それを受けた就業者の働く環境を悪化させ、あるいは雇用について不安を与えること、このことを指すと言われております。さらに、パワーハラスメントは職場内の秩序を乱し、各組織の正常な業務運営の障害となり得ることととも

に、殊に上司から部下への不用意な言動によって、職員の勤労意欲を減退させ、ひいては精神的な障害に陥る職員を発生させる要因にもなり得るものです。この決議案で述べている市役所の状況は平成23年度ではありますが、パワーハラ問題があるということが想定されます。

管理監督者はパワーハラスメントについて、十分問題意識を持つとともに、みずからパワーハラスメントを起こさないのはもちろんのこと、職場においてもパワーハラスメントが起きていないかどうか、日常的に注意することが重要であるばかりでなく、人事担当者におきましても、必要に応じてその防止について注意喚起するとともに、パワーハラスメントに関する職員からの苦情相談について適切に処理するなどの対応が必要と考えます。

しかし、過日行われました決算特別委員会の質疑の中でも、市長が他の業務部局に対し大声を発するなどありました。三役からのハラスメントもあり得ます。この決議案第5号につきましては、第2点のところで申し述べております市長、副市長、教育長がハラスメントを行う場合も想定される。このことから、この決議案に加えるものに賛成をするものです。

以上のことから、この2点の改善を求める決議案第5号に賛成をいたします。

委員各位の御賛同を心から訴えまして、賛成討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。18番石原幸雄君。

〔18番石原幸雄君登壇〕

○18番（石原幸雄君） 議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）に対する反対討論。

本議案について、私は所属する総務常任委員会の所管事項に関しては問題がないと考えておりますが、以下の理由により、常任委員会での採決を含めて、反対の立場であります。

すなわち、本議案にはJR牛久駅東口の再整備工事費を含む都市基盤再整備費が計上されておりますが、私が以前一般質問でも指摘させていただいたように、駅東口の再整備を実施することが、果たして中心市街地の活性化に本当に有効であるのかは大いに疑問であり、原点に立ち返って再度有効策を検討すべきであると考えからであります。

以上の理由から、議案第73号には反対であります。

議員各位の良識ある判断をお願い申し上げ、反対討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。12番須藤京子君。

〔12番須藤京子君登壇〕

○12番（須藤京子君） 意見書案第2号、福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出について、賛成討論を行います。

ちなみに、意見書案第3号、決議案第5号、6号についても賛成討論を行いたいところではありますが、いずれも提案者、賛同者に名前を連ねている関係から控えることといたします。

東日本大震災から２年半、福島第一原発では放射性汚染水漏れがとまらず、事故の収束はいまだ先が見通せておりません。阿武隈山系の集めた豊かな伏流水は、福島県沿岸から１０キロメートル沖合で海に湧き出ていると言われています。福島原発の地下には無数の地下水が川のように流れ、これらの地下水が事故を起こした原子炉建屋にも流れ込んでいます。そこで、この対策として、汚染水を地上のタンクに貯蔵する方法がとられました。しかし、その汚染水タンクからも高レベルの放射能を持つ汚染水が外部に漏れていることが明らかとなり、その一部は海に流出する事態を招きました。そして、東電は汚染水の海洋流出がほぼ確実だということをつかんでいながらこれを隠し続けるという、あってはならない事態を繰り返したのです。

こうした事態を国際社会は強く懸念し、２０２０年の東京オリンピック招致を決定する際にも各国の関心はそこに集中しました。政府は９月３日、原子炉周辺の土を凍らせて地下水を遮断する対策などに国費４７０億円を投入すると発表、安倍首相が９月１９日に現地視察を行いました。視察後、安倍首相は、政府が前面に出て対策に全力を挙げる姿勢を強調しましたが、福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先の課題として国会でも議論を深め、専門家の英知を広く集め、一刻も早い事故の収束を図ることが必要と思われます。試験操業の再開を決めた福島県漁業協同組合を初め、日本国民、国際社会のために、私たちは声を上げていかなければならないと思います。

よって、意見書案を採択すべく、議会全体の意思として採択すべく心よりお願いをし、賛成討論といたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。２１番鈴木かずみ君。

〔２１番鈴木かずみ君登壇〕

○２１番（鈴木かずみ君） 認定第１号、平成２４年度牛久市各会計歳入歳出決算認定に対する反対討論。

安倍政権は、来年４月からの消費税増税を強行するために打ち出そうとしている５兆円規模の経済対策に、法人税の引き下げが盛り込まれることが確実となりました。法人税減税で最も恩恵を受けるのは大企業です。消費税の増税で損害をこうむる国民や中小零細企業を尻目に、大企業が減税で潤い、内部留保をふやすというのは全く筋違いで理不尽です。今、市民生活は、年金の引き下げ、公共料金、介護保険、国保税、後期高齢者医療保険等々の負担増、物価高に苦しんでいるというのが実態であります。厳しい生活の中で税金を納めている納税者は、市税の使われ方に大きな関心を持っています。１円たりとも無駄に使ってほしくないという納税者の心理があります。

決算審議に際しては、数多くの質問をし、慎重な審議を重ねました。職員数については、市長就任時の平成１５年度では常勤職員４７５人が２４年度では３６０人に、非常勤職員は１７

8人が328人になり、現在の構成はともに拮抗状態となり、逆転しかねない数値となっています。災害時の対応、専門的視点からの市民サービスの向上、対応等について見れば、市民サービスに危機感を持つものであります。なお、審議の中で市長は、常勤職員は300まで減らすと発言、市長の施策を支える職員に対し、大声で罵倒するような答弁を行ったことは見過ごすことができません。これがパワハラではないかと感じた次第です。市長は、雨水対策など過去のまちづくりの失敗の後始末をしているとよく言われます。確かにそういう見方をすることもできると思われませんが、それは昭和40年代の開発行政による乱開発の時代、当時、人口も2万人に満たない状況の中、急激な人口増に、行政として指導できる技術もノウハウも未熟な町の時代の負の産物としか思えません。その責任を今の職員に押しつけるのは余りにも残酷であります。市長は、任期中における市政の執行者として、全責任を持つ立場であり、それを支える最高、最大のブレーンである職員をもっと大切にし、市民サービスの実現に取り組むべきです。全ての責任は市長にあることを明確にし、都合の悪いことは職員のせいにし、よいことだけは御自分の宝にするような考えを持っているとしたら、人心が離れていくことを指摘し、納税者として市長のそのような手法を望んではいないことを申し添えたいと思います。

牛久市の24年度決算については、23年度に起きた東日本大震災、福島第一原発事故による放射能汚染による除染対策など、突発的に過重な負担を市政に押しつけられた年度でもあります。一般会計当初予算227億円に対し、歳入総額275億円、歳出総額251億円となり、剰余金は実質収支8億円を超えています。当初予算に対し、約48億円（約20%）の補正、これは他市町村から見ても非常に多く、当初計画にない補正が次々と計上されています。以前から指摘しておりますように、何のための当初予算なのかという疑問が残るところです。

歳入歳出に占める市税収入の割合は年々減少し、24年度は42.1%となりました。その他、固定資産税、都市計画税額などが減少しています。また、それらを補うものが国の税制改正による16歳未満の扶養控除の廃止による市税増収約2億1,000万円となり、雇用の安定しない若い世代に負担増を押しつけるものとなっています。経常収支比率については、前年度比3ポイント上昇し、93.4%と高い数値となり、財政の硬直化が危惧される状況となっています。

歳出におきましては、中学卒業までの医療費について、一部自己負担が残されてはいるものの、独自の拡充が進められました。また、防災ラジオの整備、学校の耐震化・大規模改修など、前進面も見られました。しかし、今後、相対的な市民税の減少傾向により、市民税減収は避けられないものと見れば、なおのこと身の丈に合った施策と福祉の充実に力を入れることが求められます。土地開発基金使った土地購入を先行する市政運営が多々見られ、本当に必要な施策は何かを見失うおそれがあるのではないかと考えます。子育て日本一をうたう牛久市であれ



ば、ひたち野うしく地域に住居を構えた若い世代に対する施策、中学校の建設、子育て広場の設置などは喫緊の課題であります、いまだ方向性も定まらない状況と言えるのではないのでしょうか。

財政状況の報告では、貸借対照表の資産の部において、過大な市税を投入して道路を整備した道路資産について、実質約465億円あるものを資産ゼロとする牛久方式（東京都方式）は、市民にとって必ずしも透明性のある会計方式とはいいがたいとの指摘もあります。また、社会福祉協議会への福祉関係の比重は高まり、公立保育園を廃止し、民間保育園として社協に移行を続けていますが、国の子ども・子育て支援新制度と相まって、保育の公的責任を放棄するものと言わざるを得ません。なお、保育士不足の解消は大きな課題となっています。

よって、認定第1号、平成24年度決算に対し、反対をいたします。

委員各位の御賛同を心よりお願いし、討論を終わります。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。ほかに討論はありませんか。

2番秋山 泉君。

〔2番秋山 泉君登壇〕

○2番（秋山 泉君） 決議案第5号、牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱の内容の改正を求める決議について、反対討論をいたします。

反対理由の1点目は、苦情処理委員会のメンバーに職員以外の者、医師あるいは臨床心理士など、ハラスメントの相談業務に精通している人がいないとありますが、現在、保健師がメンバーに入っており、今後は臨床心理士や精神保健福祉士の資格を持つ職員をメンバーに入れるということ、そして、専門機関、外部機関への相談もできることを職員には周知しています。また、先日の委員会休憩中、執行部より、メンバーに外部の委員として弁護士を任用することを検討するという説明もありました。

2点目は、市長、副市長、教育長がハラスメントを行ったとされる場合が想定されていないということですが、そもそもこの要綱は、市長が職員のために定めたものであります。職員をハラスメントから守るためのものなので、当然、市長並びに副市長、教育長からハラスメントを受けた場合は、この要綱にのっとり相談することができます。よって、この文言をあえて入れる必要性は全くありません。もし仮に、市長が職員からハラスメントを受けたと仮定した場合には、この要綱は当てはまらないということです。

以上の理由により、本決議案に反対するものであります。

議員各位の御賛同を心からお願いし、反対討論を終了いたします。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。3番尾野政子君。

〔3番尾野政子君登壇〕

○3番（尾野政子君） 公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議案について、反対の立場から討論を行います。

このたび上程されましたこの決議案の中では、個人情報保護条例第20条を根拠に、本人以外である議会への開示を求めています。先ほど、賛成者の方からもこの18条と20条について、るる述べておりましたが、この議会への開示を求めています、これは大きな誤解と言わざるを得ません。なぜなら、20条と一体になっている条例があるからです。それは、皆様御存じのとおり、牛久市個人情報保護条例第18条であります。18条には、開示請求権について規定されております。開示請求内容は、市が保有する個人の情報を開示請求できる権利は本人にあるということです。つまり、18条と20条はそれぞれが独立した条例ではなく、連動しているということであり、18条と一体になった20条ということになります。したがって、この20条を根拠に議会への開示を求めることは的外れであり、間違いであると指摘せざるを得ません。この決議案の提出者、また賛成者におかれましては、今申し上げた角度からいま一度個人情報保護条例を読み直していただきたいと存じます。

以上の観点から、公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議案は反対をいたします。

議員の皆様の御賛同をよろしくお願い申し上げます。

以上で反対討論を終わります。

○議長（山越 守君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） 次に、原案反対の方の発言を許します。ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山越 守君） これをもって討論を終結いたします。

ここで暫時休憩といたします。再開は12時10分といたします。

午前11時56分休憩

---

午後 0時10分開議

○議長（山越 守君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより、議案第62号ないし議案第76号の15件、認定第1号の1件、意見書案第2号

及び意見書案第3号の2件、決議案第5号及び決議案第6号の2件について、順次採決いたします。

まず、議案第62号、つくば市の公の施設を牛久市住民の利用に供することについて、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第62号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第63号、牛久市国民体育大会運営基金条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第63号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第64号、牛久市子ども・子育て会議条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第64号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第65号、牛久市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第65号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第66号、牛久市税条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第66号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 67 号、牛久市社会教育施設・文化施設整備基金条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第 67 号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 68 号、牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第 68 号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 69 号、牛久市介護保険条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第 69 号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 70 号、牛久市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第 70 号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 71 号、牛久市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第 71 号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第 72 号、牛久市下水道条例の一部を改正する条例について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第72号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第73号、平成25年度牛久市一般会計補正予算（第3号）、まず、本案に対する利根川英雄君外2名から提出された修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立少数であります。よって、修正案は否決されました。

次に、原案について採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立多数であります。よって、議案第73号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第74号、平成25年度牛久市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立多数であります。よって、議案第74号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第75号、平成25年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第75号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第76号、工事請負契約の締結について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、議案第76号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、認定第1号、平成24年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について、本案に対する委員長の報告は認定すべきものとするであります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立多数であります。よって、認定第1号は委員長の報告のとおり認定することに決しました。

次に、意見書案第2号、福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を最優先して取り組むよう求める意見書の提出について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、意見書案第2号は可決されました。

次に、意見書案第3号、教育予算の拡充を求める意見書の提出について、本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、意見書案第3号は委員長の報告のとおり可決されました。

次に、決議案第5号、「牛久市職員のハラスメント防止に関する要綱」の内容の改正を求める決議について、本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立少数であります。よって、決議案第5号は否決されました。

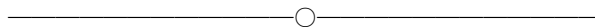
次に、決議案第6号、公共用地の購入に係わる地権者の氏名等の公表に関する決議について、本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立少数であります。よって、決議案第6号は否決されました。

次に、日程第21、閉会中の事務調査の件を議題といたします。



閉会中の事務調査の件

○議長（山越 守君） 本件は、お手元に配付してありますとおり、各委員長から閉会中の事務調査の申し出がありました。

お諮りいたします。本件は、各委員長の申し出のとおり、それぞれ閉会中の事務調査に付することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山越 守君） 起立全員であります。よって、本件は、各委員長の申し出のとおり、それぞれ閉会中の事務調査に付することに決しました。

以上で、今期定例会に付議されました案件は全て議了されました。

これをもって平成２５年第３回牛久市議会定例会を閉会いたします。御苦労さまでした。

午後０時２０分閉会

---

地方自治法第１２３条第２項の規定により署名する。

議 長 山 越 守

署名議員 鈴 木 かずみ

署名議員 利根川 英 雄